

## 研究協力のお願ひ

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

研究課題名：白内障と iStent®（白内障手術併用眼内ドレーン）挿入術後の屈折誤差の検討

### 1. 研究の対象

2019年1月から2020年12月に、  
当院で白内障と iStent®（白内障手術併用眼内ドレーン）挿入手術を受けられた方

### 2. 研究目的・方法

近年、MIGS(micro-invasive glaucoma surgery;極低侵襲緑内障手術)とよばれる、侵襲の少ない緑内障手術が普及しています。その中の一つに iStent®（白内障手術併用眼内ドレーン）挿入があります。前房とシュレム管の間にバイパスを作成する事により生理学的な前房水の流出を改善し、眼圧下降作用と点眼薬剤の減少を期待できます。また、白内障手術単独と同様の合併症で安全に使用できるデバイスです。この手術を白内障と同時に施行された方の術後の屈折誤差を検討し、白内障単独手術の場合の成績と比較検討します。

### 研究期間

昭和大学横浜市北部病院臨床試験審査委員会承認後、病院長の研究実施許可を得てから  
2022年12月まで

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

術前後の視力・眼圧・屈折検査、前眼部写真、眼底写真、手術記録、手術ビデオ、患者背景（年齢）等を調査項目とする。

#### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：所属：昭和大学横浜市北部病院 眼科 氏名：遠藤 貴美  
住所：224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1 電話番号：045-949-7000  
研究責任者：所属：昭和大学横浜市北部病院 眼科 氏名：遠藤 貴美